

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第2時(9時間取り扱い)

平行四辺形の高さを確実に
理解することができる！

本時の授業の概要

前時の学習をもとに、平行四辺形の面積を求める公式を作る。長方形に等積変形した図をもとに立式したそれぞれの数値が、平行四辺形のどの部分になるのかを捉えさせ公式を作る。さらに公式を活用し面積を求められるようになることをめざす

本時の目標

平行四辺形の求積の公式を理解しそれを適用して面積を求めることができる。

活用場面

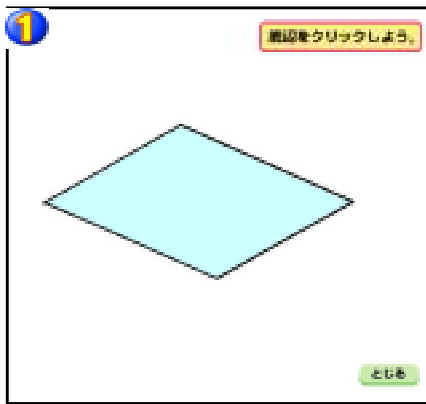
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟



平行四辺形の底辺と高さを見つけ、面積を求める。

① T：平行四辺形の面積を求めるのは、どの長さが必要ですか。

C：底辺と高さの長さ

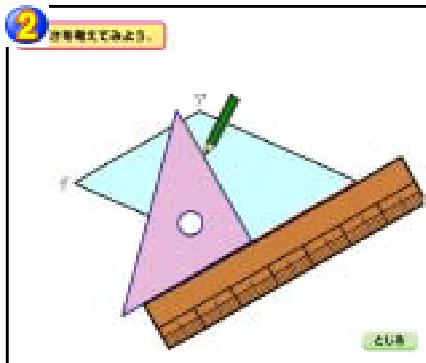
T：平行四辺形の面積は、どんな公式で求められましたか

C：底辺×高さ

T：(指さして)ここを底辺とすると、高さはどこですか。

C：高さは底辺に垂直だ。このままでは考えにくい

高さの位置を確認する



② T：どのようにして高さを求めますか

C：底辺に三角定規をおき、もう1つ三角定規をおき、頂点Aを通るように線を引く。

T：方眼がないと、どこが高さなのかわからなくなってしまいます。高さがどこなのか、どうやって見つけるのかきちんと理解しておきましょう。公式を忘れても、やり方をしっかり理解していると面積を求めることができます。

【ワンポイントアドバイス】

方眼がある場合は高さを捉えやすいが、方眼がなくなると高さを捉えることが難しい。高さは底辺と垂直になっていることを確実におさえたい。

公式を覚えるだけでなく、どうして公式が使えるか理解することの大切さを伝えたい。

【サイト情報】

<http://www.kids.gakken.co.jp/campus/academy/amagasaki/h13-14contents/vol1/hisigata.html>

(尼崎デジタルコンテンツ研究会)